

○今月のことば

「聞こえる」ということは、単に鼓膜で振動を聞くことでなく、心の耳で受けて全身で聞くこと、感得することです。

宇宙に響く音声が聞こえてくると、私たちの心は極限にまで高められ、全身が感動につつまれます。ほとけさまと出あった感動と、ほとけさまへの感謝が歌となり、音楽となって表現され仏教讃歌が生まれました。

さらに、仏教讃歌を声に出して歌うと心は高まり、その心が他の人々にも伝わり、人も空間も澄みきった清らかなものになってゆくから不思議です。

【海野公子著「ばあばあのおめめは仏さま一老病死に向き合った“信”のあゆみ」自照社出版より。】

○今月の行事

緑陰フルーツ法話のつどい

7月23日(日) 午後4時～

- ・共催「宇奈月の歴史と文化を楽しむ会」(会長 河田 稔)によるティータイムがあります。

○その他

「絵で読む阿弥陀経」の絵解きは先月(10回目)で終了しました。

今月のテーマは「仏教讃歌を楽しむ」です。

お誘いあわせの上、参加くださいますようお願いいたします。